

上皿天びん

MS型 取り扱い説明書

MS-50 / MS-100 / MS-200



20180405



〒535-0005 大阪市旭区赤川2丁目10番31号

株式会社 村上衡器製作所

URL <http://www.murakami-koki.co.jp/>

TEL (06)6928-7571(代)

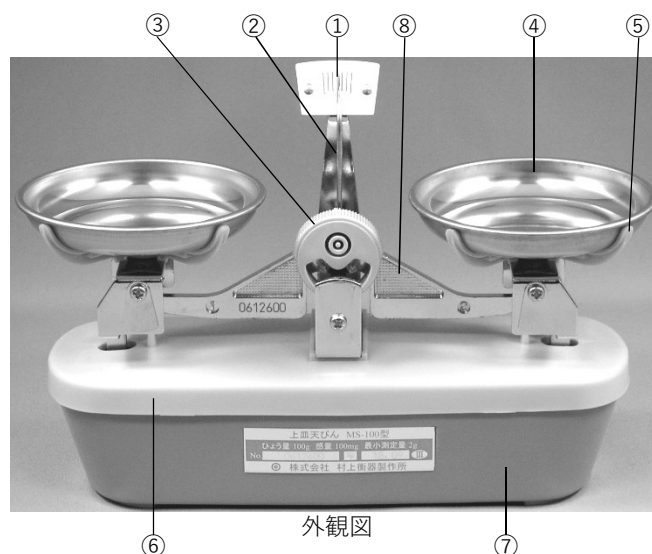
FAX (06)6928-1099

仕様

品番	型名	ひょう量 感量	概略外形寸法	
			皿径	本体重量
1300	MS-50	50 g	195(W)×80(D)×135(H) mm	80 mm
		50 mg		295 g
1010	MS-100	100 g	195(W)×80(D)×135(H) mm	80 mm
		100 mg		295 g
1040	MS-200	200 g	205(W)×85(D)×135(H) mm	85 mm
		200 mg		300 g

各部の名称

- ① 度表 (どひょう)
- ② 指針 (ししん)
- ③ ゼロ点ツマミ
- ④ 皿
- ⑤ 皿受け
- ⑥ 取付台
- ⑦ 保護ケース
- ⑧ 棹 (さお)



1. 部品の点検

下記の部品が揃っているかご確認下さい。

・ 皿④	2枚	
・ 組分銅（分銅及びピンセット）	1組	
MS-50型（ひょう量：50g）	20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, 50mg, ピンセット	各1個
	10g, 2g, 200mg	各2個
MS-100型（ひょう量：100g）	50g, 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, ピンセット	各1個
	10g, 2g, 200mg	各2個
MS-200型（ひょう量：200g）	100g, 50g, 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, ピンセット	各1個
	10g, 2g, 200mg	各2個



梱包箱から本体を取り出すとき、指針②の先端はとがっていますのでご注意ください。

2. 組立・設置方法

- 2-1 器物番号が棹⑧及び皿④の表側に表記してありますから、これが本体のネームプレートの番号と一致しているかお確かめ下さい。
- 2-2 この天びんは精度（ひょう量と感度の比）が1/1000と精度の高い計量器ですから、直射日光をさけ湿気・振動・風の少ないところで、水平に保って使用・保管願います。
- 2-3 皿④の表側には1・2の番号が表記してありますから、向かって左側の皿受け⑤に1の皿④を、右側の皿受け⑤に2の皿④をのせて下さい。

3. 性能検査方法

- 3-1 皿④の上に何ものせずに、棹⑧の中央にあるゼロ点ツマミ③を左右に回して、指針②が度表①の目盛線の真中を中心として、左右に等しく円滑に振れるよう調整します。（0点の調整）
- 3-2 感量に相当する分銅を片方の皿④にのせて、指針②が約1/2目盛り以上振れるか調べて下さい。（感度の確認）

4. 使用方法

【決まった質量（一定量）の試料をはかりとる場合】

- 4-1 左の皿④に決まった質量に相当する分銅をのせて下さい。
- 4-2 右の皿④にはかりとりたい試料をのせて指針②が中心から左右に等しく振れるようになれば、はかりとり完了です。

【試料の質量をはかる場合】

- 4-3 左の皿④にはかろうとする試料をのせて下さい。
- 4-4 右の皿④に分銅を重い順にのせて指針②が中心から左右に等しく振れるようになったとき、のせた分銅の合計が求める試料の質量です。



- 1 ご使用前に前項3の性能検査を必ず行ってください。
- 2 左利きの方は試料と分銅の位置を反対にして使用して下さい。
- 3 皿④を汚すおそれのある試料をはかる場合は、紙片などを皿④に敷いてその上に試料をのせて下さい。
- 4 分銅はピンセットで扱って下さい。

5. 使用上の注意（故障や誤計量をさけるため下記の注意事項をお守り下さい）

- 5-1 天びんの金属部分には防食表面処理を施してありますが、腐食性の強い試料がこぼれた場合には、よく拭き取って下さい。
- 5-2 分銅及び試料は皿④の中央にのせるようにして下さい。
- 5-3 本体の水洗いや内部への注油等は絶対にしないで下さい。
- 5-4 保管する際は、湿気の少ない、腐食性ガス等が発生しない場所に置くようにして下さい。

6. その他

- 6-1 保護ケース⑦の内部の清掃は、保護ケース⑦から取付台⑥を外すことにより簡単に行えます。
- 6-2 部品違いや故障その他のお問い合わせは販売店又は、弊社までご連絡下さい。
- 6-3 補修用部品及び補充用分銅の販売も致します。